

令和3年度おおさか環境デジタルメディアコンテスト入賞作品一覧

【第2部】

デジタルポスター部門受賞作品（10作品）

<ビジョン形式>

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
最優秀賞		エコな移動を始めよう！	山上 猛	日々の生活のCO2排出量の2割を占めるといわれる移動について考え直すきっかけになればと思い製作しました。自らの足で動くことは健康にも直結するため、これを薦める一助となり得れば幸いです。
優秀賞		ただこれだけ されどこれだけ	早川 琴音	電球をLEDに変える、電気を消す、少しの行動で地球温暖化の抑制に繋がることを描いた。可愛らしい雰囲気と、温暖化で北極の氷が減っているのをシロクマを描いた。右へ明るくなるのは、未来が明るくなる事を表す。
優秀賞		子どもたちの未来に優しい車	田村 貞夫	子どもたちの未来に優しい車、すなわち地球環境に優しい車を選ぶことで脱炭素社会への転換を促進したいと思います。
大阪産（おおさかもん）賞		簡単なことから	佐藤 綾那	温暖化を少しでも抑制するために、例えば、洗濯物は乾燥機を使わずに太陽と風で自然乾燥させよう、というように家庭内で簡単にできることから始めていこう、というテーマで描きました。
大阪産（おおさかもん）賞		車より、電車で。	中野 美香	移動の際に、車より電車などの公共交通機関を使うほうがCO2排出量が少なく環境に良いので、それを簡潔に分かりやすく伝えられるデザインにしました。

<サイネージ形式>

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
優秀賞		小さな積み重ね	菅原 裕可里	何をしたらいいか一目見ただけで自分でも出来るかもしれないと思って貰えるようにキャラクターを用いて制作しました。環境の啓発ではなく取り組みの提案を目的としております。
優秀賞		どっちに住みたいです か？	小山 乃々子	何も対策をせずにほっておくとグレーの絵のようになりいつか生き物の住めない環境になるが対策をすれば、緑の絵のような環境になります。汚い世界が緑豊かな世界どちらがいいか一目で分かるようにした。
優秀賞		あなたも地球を救うヒーローになれる	船本 亜美瑠	脱炭素社会に向けての取り組みの中に、私たちが日常生活でほんの少し意識して行動するだけで地球は救われるという事を伝えたくて、通りすがりの人でもパッと見ただけで伝わるようなシンプルなイラストを描きました。
優秀賞		地産地消で地球と体に優しい生活をしよう	条 悠花	数ある脱炭素社会へ向けた取り組みの中から、もっとも簡単で誰にでもできて、帰ってくるメリットも大きい地産地消を推奨するデザインを考えました。大阪産野菜を知ってもらうきっかけにもなれば良いと思います。
大阪産（おおさかもん）賞		マイバッグ持参が当たり前	米田 実由	このポスターではサラリーマンをメインにして意外性をもたせています。マイバッグのイラストと文字を赤色に統一し、遠くからでも目に入るように工夫しました。

動画部門受賞作品（2作品）

賞名	作品URL	作品タイトル	名前	作品説明
最優秀賞	https://youtu.be/8vd5U7rR4Uk	私にもできる小さなこと。	横山 浩康	身の回りの小さな意識と行動が未来の地球環境を変えていける事を動画を通じて伝えればと思い製作しました。
優秀賞	https://youtu.be/RV7JZwufDbI	ああ～暑い！	せいりょう	地球温暖化の原因である二酸化炭素排出ストップの呼びかけ。

写真部門受賞作品（4作品）

賞名	作品	作品タイトル	名前	作品説明
優秀賞		チャージ中	河合 都章	見たことのないたくさんのソーラーパネル、しかも池の中に。青空・パネル・池のブルー。人それぞれに感じとってほしい思い。
大阪産（おおさかもん）賞		リサイクルの日	堀川 宗彦	我が町の北王子自治会では地域の皆様の御協力頂き、毎月「リサイクルの日」を設け古紙等の回収をしています。
大阪産（おおさかもん）賞		色を取り戻した西淀川	鈴木 章弘	1960年頃から鼠色の煙に包まれた阪神工業地帯の中心であった西淀川。「一帯に色が戻った。」青い空も、緑の芝も、そして魚も戻ってきた景色を眺め、このあたり前の自然を残していくことの大切さを語りました。
大阪産（おおさかもん）賞		箕面山紫水明	湯之前 裕介	箕面の自然の風景、水が清らかで美しい。後世にもこの素晴らしさが残っている世界にしたい思い。

団体賞（4校）

大阪情報コンピュータ専門学校、大阪美術専門学校、大阪府立福井高等学校、鹿児島女子短期大学